

オートフィルタ

表が大きいと見たいデータを探し出すのも大変ですが、Excelには表の中から指定した条件に合うデータだけを表示する「オートフィルタ」というたいへん便利な機能が備わっています。

オートフィルタの設定

テーブル中のいずれかのセルを選択している状態で、「データ」タブの「フィルター」ボタンをクリックするだけで、自動的にオートフィルタ機能が有効になり、先頭行（通常はタイトル行）の各欄にプルダウンメニューが並んでくれます。



【便利知識】

先頭行の連続した複数セルを選択している状態で「フィルター」ボタンをクリックすると、選択したセルの列だけにプルダウンメニューが並びます。

「データ」タブの「フィルター」をクリック

（とびとびの複数セルを選択している時にはオートフィルタの設定ができません。）

オートフィルタの解除

再度「フィルター」ボタンを押下すると、オートフィルタ機能が停止し、プルダウンメニューが消えます。

オートフィルタの活用

プルダウンメニューを開くとその列に記載されているデータ内容が並んでいます。その中から見たいものを選ぶと、その条件に合ったデータ行だけが抽出されて表示されます。

それ以外のデータは画面上消えています。なくなったわけではないのでご安心を。。

その証拠に別のものを選べば、今度はその条件のもので選択表示されます。



The screenshot shows the Excel interface with the '性別' dropdown menu open. The menu options are '男' (Male) and '女' (Female). The '男' option is selected. The data table below shows the filtered results for '男'.

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	生徒番号	組	氏名	性別	国語	算数	理科	社会	計
2		1	山田太郎	男	95	89	90	98	372
3		1	山田花子	女	90	82	95	92	359
4		2	田中一郎	男	78	45	100	78	301
5		2	田中由美	女	45	80	100	67	292
6		3	佐藤健太	男	60	58	82	90	290
7		3	佐藤美穂	女	74	38	72	66	250
8		4	鈴木直樹	男	52	55	67	60	234
9		4	鈴木あかり	女	48	77	52	48	225
10		4	鈴木健一	男	48	60	50	40	198

「性別」のプルダウンメニューから「男」のみを選択

オートフィルタでは、抽出表示された表を更に絞り込み表示させることもできます。

データを全部表示に戻すには、オートフィルタの条件で、「すべて表示する」を選んでください。



The screenshot shows the Excel interface with the '組' dropdown menu open. The menu options are '1', '2', and '3'. The '1' option is selected. The data table below shows the filtered results for '組 1'.

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
6	55	1	山田太郎	男	60	58	82	90	290
7	17	1	山田花子	女	74	38	72	66	250
9	12	1	山田健一	男	48	77	52	48	225

続けて「組」から「1」のみを選択し「1組の男」を抽出

複数の項目で絞り込みをしていた場合にはそれぞれを「すべて表示する」にして戻すことをお忘れなく。

SUBTOTAL 関数との組み合わせ

抽出されたデータだけで合計値や平均値などを求めたいという場合がすくなくありません。

合計を求める一般的な「SUM 関数」を使ってしまうと、フィルタで非表示になった行のデータも集計に含まれてしまいます。「SUBTOTAL 関数」を使えば、フィルタで抽出されたデータのみで集計されます。



The screenshot shows an Excel spreadsheet with a table of student data. The columns are: 生徒番号 (Student ID), 組 (Group), 氏名 (Name), 性別 (Gender), 国語 (Japanese), 算数 (Math), 理科 (Science), 社会 (Social Studies), and 計 (Total). Rows 4-9 are visible, representing filtered data. In cell I11, the formula `=SUBTOTAL(9,E2:E10)` is entered, which calculates the sum of the 'Total' column for the visible rows. The result shown in the cell is 301.

SUBTOTAL 関数は「オート SUM」ボタンでワンタッチ入力

【便利知識】

オートフィルタ機能によっていずれかの列で絞り込みがされている状態で、列末尾の直後のセルを選択して、オート SUM(Σ) ボタンを押すと、「SUM 関数」ではなく「SUBTOTAL 関数」が設定されます。集計範囲などの条件は Excel が自動的に登録してくれます。



This screenshot shows the same Excel spreadsheet as above, but with a different filter applied. In this case, rows 4 and 5 are visible. The formula in cell I11 is `=SUBTOTAL(9,I2:I10)`, and the result is 349. This demonstrates how the filter and the formula's range affect the calculation.

抽出されたデータのみを対象に合計値が算出される

【便利知識】

絞り込み状態から「すべて表示する」に戻した時も、また、別の条件で絞り込みをした時も、SUBTOTAL 関数の式は変わることはなく、当該セルには抽出されたデータのみを対象に自動的に再計算された値が表示されます。

【便利知識】

いずれかの列で SUBTOTAL 関数の式をセットしたら、それをドラッグして他の列にコピーできます。

連番を振る

一般に、行に連番を振る時には、ドラッグなどで「連続した数字を入力する」か、「ROW 関数」(例: =ROW()-1)を用いますが、オートフィルタ機能でデータを抽出した場合には、非表示の行が飛び番になって、連続してくれません。

【便利知識】

「SUBTOTAL 関数」を使うと、オートフィルタ機能を働かせた場合でも崩れない連番を振ることができます。

例: A2 のセル

=SUBTOTAL(3,\$B\$1:\$B2)-1

A3 のセル

=SUBTOTAL(3,\$B\$1:\$B3)-1

:

A10 のセル

=SUBTOTAL(3,\$B\$1:\$B10)-1

No.	生徒番号	組	氏名	性別	国籍	算数	理科	社会	計
1	20	1	橋田幸子	女	95	89	90	98	372
2	56	2	藤田智子	女	90	82	95	92	359
3	28	2	桑野俊夫	男	78	45	100	78	301
4	42	2	中西良之	男	45	80	100	67	292
5	55	1	橋田博男	男	60	58	82	90	290
6	17	1	今井利治	男	74	38	72	66	250
7	61	2	山本貴子	女	52	55	67	60	234
8	12	1	石川博	男	48	77	52	48	225
9	57	1	秋田祐子	女	48	60	50	40	198
11					590	584	708	639	2521

SUBTOTAL 関数を使って連番を振る

No.	生徒番号	組	氏名	性別	国籍	算数	理科	社会	計
1	28	2	桑野俊夫	男	78	45	100	78	301
2	42	2	中西良之	男	45	80	100	67	292
3	55	1	橋田博男	男	60	58	82	90	290
4	17	1	今井利治	男	74	38	72	66	250
5	12	1	石川博	男	48	77	52	48	225
11					305	298	406	349	1358

データが抽出された状態でも連番が崩れません

SUBTOTAL 関数の最初の引数「3」は、データの個数 (COUNTA) を求める、という意味です。

A2 は、B1 と B2 の間のデータの個数 (2) から 1 を引きますので、結果は 1 となります。

同様に、A3 の結果は 2 となります。

おわかりのように、最後の引数には「複合参照」で行番号が可変になっていますので、A2 のセルに入力したら、後はドラッグすれば良いのです。

SUBTOTAL はフィルタで非表示となる行は集計の対象になりませんので、飛び番が生じません。